

令和2(2020)年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	非平衡ソフトマター・アモルファス物質の物性解明への力学的自己組織化からの挑戦
研究代表者	田中 肇（東京大学・生産技術研究所・教授）
研究期間	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>【課題の概要】 本研究は、非平衡ソフトマター・アモルファス物質の構造及び力学的・熱的物性を、従来の熱力学的視点に運動量保存則に基づく力学的視点を取り入れた新しい枠組みで、理論と実験の両面から解明しようとする独創的な研究構想である。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 本研究の推進によって、ソフトマターやアモルファス物質、更には非平衡不規則構造体一般の力学物性・熱物性に統一的な理解を与えるという学術的な重要性が認められると共に、不規則構造体の力学的最適化に関する新しい手法の提案等、物性科学の範疇を越える広範な分野への波及効果が期待される。</p>